

平成30年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	未来へつなぐ風越山麓わくわくプロジェクト		
事業主体 (連絡先)	丸山まちづくり委員会 0265-49-0282		
事業区分	2 地域づくり	1	魅力ある地域の創造と発信
事業タイプ	ソフト・ハード		
総事業費	1,162,683 円		(うち支援金: 833,000 円)

事業内容

- 1 育苗管理作業
昨年植樹したヤマザクラの鹿による食害対策やブルーベリー狩り登山コース開設を目的に苗木の植栽と乾燥対策実施
実施日 5/19、6/2、9/24、3/10、3/16 参加者延べ100名
- 2 次世代を担う若年層(小学生)を対象に風越山麓公園において自然体験(ツリークライミング)、樹木観察会を実施。
参加人数 36名
実施日 平成30年10月21日(日)
- 3 風越山登山者への携帯トイレの普及啓発のための先進地(長野市戸隠)視察を実施 参加人数 19名
実施日 平成30年8月28日(火)
- 4 風越山の石灯籠付近の登山道へ案内看板を設置 (1基)
縦90cm・横120cm・高さ180cm
実施日 平成30年12月25日(火)



風越山石灯籠への案内看板設置

【目標・ねらい】

- 1 交流人口の増加を見据えて、飯田のシンボルである風越山を中心とした観光客(登山客)を受け入れる体制作りを行う。
- 2 次世代を担う若者層の郷土愛を高める。
- 3 風越山の環境を守るための携帯トイレの普及啓発を行う。

※自己評価【 A 】

【理由】

既存の地域資源である風越山を中心とした観光客の受け入れ体制づくりが本格化した。また、次世代を担う地域の若年層にもイベントを通じて風越山の魅力を伝えることができ、インストラクター等として地元で活躍する若者の育成の土台ができた。

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- 1 登山客への食の提供として、ブルーベリー狩りを登山コースに組み込んでいくことに加え、地元の食材による「五平餅」等の調理体験ができる体制作りのための話し合いが始まった。
- 2 ツリークライミングは参加した小学生に大好評であった。将来ツリークライミングのインストラクターとして地元で活躍する若者を育成していく。
- 3 携帯トイレの利用に係る先進地視察により、携帯トイレの導入の気運が高まってきた。併せて、空き家を活用した売店での携帯トイレ販売の声が上がってきた。今後は市の空き家情報を基に売店の開設の取組みを進める。
- 4 飯田のシンボルである風越山を大勢の登山客に知ってもらうことができた。

今後の取り組み

風越山(かざこしやま)を中心とした環境整備等により、次代を担う子供たちを巻き込み、地域住民自らが実践し楽しく活動することを基本に地域資源の発掘を行う。また、その地域資源をどう活かし、地域の活性化に繋げていくかワークショップ等による検討を行い、地域を元気にすることで持続可能な地域づくりを推進する。